

**平成24年度（通期）  
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：

生涯学習 部

図書館

**1. 基本情報**

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	貸出冊数 (単位: 冊)	
	指標の意味	年間の延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	332,000	今年度の実績値 385,783冊

**2. 利用状況**

利用状況等の推移		H17※	H20	H21	H22	H23	H24 (上期)	H24 (通期)
	来館者数 (人)		153,179	170,167	149,047	154,672	156,894	84,703
講座開催回数(回)		36	73	81	92	97	48	90
講座参加者数(人)		1,071	2,940	1,723	4,731	2,167	1,069	2,069
貸出冊数		259,651	316,870	305,365	334,695	360,214	203,010	385,783

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

**3. 管理経費等**

平成24年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	31,193	指定管理委託料	31,193
	その他（コピー収入）	60	その他（コピー収入）	49
	合計	31,253	合計	31,242
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	29,574	人件費	30,638
	維持管理経費	200	維持管理経費	205
	事業等経費	1,479	事業等経費	1,418
	その他		その他	
	合計	31,253	合計	32,261
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	-1,019

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H20	H21	H22	H23	H24	H25
	市の収入		0	0	0	0	0
（内、使用料収入）		0	0	0	0	0	-
市の支出		37,088	38,008	38,324	38,423	38,193	-
（内、指定管理委託料）		30,088	31,008	31,324	31,423	31,193	-
実質経費（歳出－歳入）		37,088	38,008	38,324	38,423	38,193	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課意見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	B	開館から20年以上が経過し、老朽化による施設・設備機器の劣化が見られるが、利用者の利便性と費用対効果を十分に検討しながら臨機応変に対応している。	A	老朽化による修繕、費用対効果など適切な施設管理運営を実施している。また、アンケート結果より館内が清潔に保たれている回答が非常に多かった。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	職員を適材適所に配置しスムーズな運営を心がけているほか、有用な研修には臨時職員も含め可能な限り参加している。	B	本館や県立図書館で開催する図書研修に積極的に参加している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		A	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	ラスタホール全館での防災訓練を年2回実施しており、図書館職員も毎回参加している。	B	継続的に訓練を行い、危機管理に対する意識の向上に努めている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用者からのご意見やトラブルについては十分に検討し、対応可能なものは迅速に取り組んでいる。また、多彩な行事を企画・運営し、利用者増に努めている。	A	サービス向上への対策や多彩な行事の企画・運営の取り組みにより、利用者数が前年に比べ増加している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業については新規・継続含め毎年十分検討し、効果的な事業展開を図っている。	A	講座やおはなし会などの事業では、満足の評価を十分に得ている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護についてはセキュリティ運用基準を遵守し、読書案内や雑誌、市広報誌、ホームページのほか、他施設との連携を通して会館情報を幅広く発信している。	B	積極的な情報発信・情報提供を行い、利用者の増加に繋がっている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	予算の範囲内で適正に行っている。	B	収支計画に基づき、適正に運営している。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			
施設所管課総評	年間の利用状況は前年比で利用者数は1.8%増、貸出冊数は7.1%増で共に伸びている。また、事業面ではサービス向上にも意欲的に取り組むなど評価できる事業内容であり、市が期待する管理者としての責務は果たされている。					

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。「－」＝当該項目での評価対象外。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果の概要

実施の有無	主な回答内容
有り	<p>アンケート実施日 3月初旬～3月末、 回答数66件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。・・・「はい」98%</li> <li>・南分館職員の接遇はいかがですか。・・・「たいへん良い」15%、「良い」32%</li> <li>・施設を利用しての全般的な満足度・・・「たいへん満足」55%、「満足」39%</li> <li>・本の貸出・予約について・・・「たいへん満足」46%、「やや満足」50%</li> <li>・本や調べものの相談について・・・「たいへん満足」36%、「やや満足」64%</li> <li>・講座やおはなし会など行事について・・・「たいへん満足」33%、「やや満足」67%</li> <li>・開館日、開館時間など管理運営について・・・「たいへん満足」38%、「やや満足」49%</li> </ul>

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
年々、貸出冊数が順調に伸びていることから、次年度における目標値を上方修正をする必要がある。	現状やその他の状況を十分考慮し、妥当な目標値への上方修正を検討する。